

令和 7 年 7 月 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 横手市地域公共交通活性化協議会
住 所 秋田県横手市中央町 8 番 2 号
代 表 者 氏 名 会長 村田 清和
(公 印 省 略)

地域公共交通計画変更届出書

令和 6 年 9 月 2 5 日付け国総地第 1 2 5 号で国土交通大臣より認定された地域公共交通計画を以下のとおり変更するので、関係書類を添えて届出します。

○ 変更日

令和 7 年 4 月 1 日

○ 変更箇所

計画別紙：2（1）事業の目標、18 協議会の開催状況と主な議論
表 1：計画運行回数
（対象運行系統 朝日が丘上台線 3、横手本荘線 2）

○ 変更理由

路線バスダイヤ改正にともない、朝日が丘上台線 3、横手本荘線 2 が減便したため

※本届出書に、変更する事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

※「変更理由」は、具体的に記述すること。

令和7年7月●日

横手市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

横手市は、東側が奥羽山脈、西側は出羽丘陵に囲まれた横手盆地の中央部に位置し、東西は45km、南北は35km、総面積692.80km²という広大な面積を有している。

市内公共交通は、鉄道2路線、路線バス14路線、タクシー会社8社などにより構成されている。鉄道については、南北に奥羽本線、東方向に北上線が運行し、秋田市や大仙市、湯沢市、北上市などと結ばれている。路線バスは、横手駅に隣接した横手バスターミナルを基点とし、放射状に運行されている。

近年は自家用車の普及や人口減少などの要因により公共交通の利用者は激減している。特に乗合バスは、市内完結路線のほとんどが赤字路線であり、路線維持のため市では毎年多額の財政支出を行っている。また、今後の更なる路線改廃も懸念されており、将来を見据えた公共交通体系への見直しが求められている。

市では、平成23年3月に「横手市地域公共交通総合連携計画」を策定し、「安心して住みよいまちづくり」に向けて、高齢化に対応したモビリティの確保、将来にわたり持続可能な公共交通システムの構築を目指し、デマンド型乗合タクシーである「横手デマンド交通」と、市街地の一部に設定した中心部バスゾーンをエリアとする「循環バス」の運行を、平成25年10月から開始したところである。

平成31年4月に「横手市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域の実情に即した交通体系の在り方を模索してきたが、計画期間中に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、従前からの公共交通利用者の減少傾向には歯止めがかかっていない状況である。令和6年3月には、令和5年度に計画期間終了の横手市地域公共交通網形成計画の評価を行うとともに、将来にわたって持続可能な地域公共交通体系の構築に向けた市全体の方向性を示す「横手市地域公共交通計画」を策定したところであり、市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されていることを目指している。

今回、地域公共交通確保維持改善事業の対象とした路線（以下「対象路線」という。）は、主に市の郊外地域から主要な公共施設や病院、商業施設などが集まる中心地域までの移動に利用されている。対象路線は、各バス路線の起終点である横手バスターミナルからの乗り換えも多く、各地域間の移動手段として重要な役割を果たしており、特に自家用車を持たない住民の移動手段として、その維持確保が必要とされている。

市民の生活の足の確保は地域の活力となるとともに、地域活性化にもつながるものであり、「安全で住みよいまちづくり」の実現のためには、横手デマンド交通と循環バスのそれぞれのメリットを生かした公共交通サービスは必要不可欠となっている。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

横手市の実態に即した、将来にわたり持続可能な公共交通サービスを実施していく。また、横手デマンド交通並びに市内循環バスの相互連携により、より効率的な公共交通ネットワーク構築の実現を目指す。

		実績値 (令和 5 年)	目標値 (令和 7 年)	目標値 (令和 8 年)	目標値 (令和 9 年)	目標値 (令和 10 年)
横手デマンド交通	年間利用人数	36,597 人	31,943 人	31,575 人	31,049 人	30,647 人
	一人あたりの財政支出	953 円	990 円	996 円	1000 円	1000 円
循環バス	年間利用人数	41,163 人	33,814 人	32,258 人	31,097 人	30,288 人
朝日が丘上台線 3	年間利用人数	4,836 人	4,400 人	4,200 人	4,000 人	3,800 人
朝日が丘上台線 9	年間利用人数	3,126 人	3,000 人	2,800 人	2,600 人	2,400 人
朝日が丘上台線 10	年間利用人数	4,014 人	3,800 人	3,600 人	3,400 人	3,200 人
大森線 10	年間利用人数	8,710 人	8,500 人	8,300 人	8,100 人	7,900 人
山内線 4	年間利用人数	3,031 人	2,800 人	2,600 人	2,400 人	2,200 人
山内線 9	年間利用人数	3,810 人	3,600 人	3,400 人	3,200 人	3,000 人
横手本荘線 2	年間利用人数	6,985 人	6,800 人	6,600 人	6,400 人	6,200 人
横手本荘線 13	年間利用人数	2,466 人	2,400 人	2,300 人	2,200 人	2,100 人
地域内フィーダー系統に係る市負担額		75,629 千円	76,000 千円	76,000 千円	76,000 千円	76,000 千円
公共交通機関の利便性に係る満足度		44.4% (※) 非常に満足 2.2% 満足 10.8% やや満足 31.4%	45%	46%	47%	48%

(目標値、目標値の考え方については、「横手市地域公共交通計画」P.58～59 を参照)

注:「地域内フィーダー系統に係る市負担額」は特定の事業者に限定しない全体の額であり、「公共交通機関の利便性に係る満足度」はフィーダー系統に限らない市の公共交通全体に対する指標である。

※令和 5 年度横手市まちづくりアンケート調査結果より(問 10 項目 24「公共交通機関の利便性の向上」についての満足度)

(2) 事業の効果

地域内フィーダー系統を確保することで、以下の効果が期待できる。

- ・市内全域の交通手段の確保（交通不便地域の解消率 100%）
- ・既存公共交通との連携により、効率的な運行体系の実現（既存公共交通の再編）
- ・外出機会の増大による社会参加や地域活性化の促進
- ・病院や商業施設へのアクセス確保による生活環境の向上

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

※事業について、過去に事業評価を行っている場合には、当該評価（一次評価及び二次評価）の結果を踏まえて記載。

◎生活バス路線の維持（羽後交通、横手市）

- ・利用状況に合わせたダイヤの調整
- ・公共施設等の整備状況を踏まえた運行ルートの見直し
- ・交通結節点の利便性向上

◎地域内交通の整理・見直し（横手市、羽後交通、タクシー事業者）

- ・横手市循環バスの運行形態の見直し
- ・横手デマンド交通の維持と運行内容の協議継続
- ・廃止代替交通の整理・見直し

令和6事業年度における事業評価の結果、目標を達成できた路線もあったが、一方でデマンド交通や地域内フィーダー系統バス路線においては、バス時刻表を市内全戸に配布し、利用者への周知に努めたものの、コロナ禍を経た生活様式の変遷やダイヤ改正による運休・減便などの影響から、ほとんどの路線で利用者数の目標値には達しなかった（朝日が丘上台線3、朝日が丘上台線10、大森線10、山内線4、山内線9、横手本荘線2、横手本荘線13）。

1次評価では、利用者の定着や新規利用者の獲得に向け、利用ニーズに合った運行となるよう事業者と連携して協議・検討を継続していくこととしているほか、利用状況を事業者とともに注視しながら実態に即したダイヤ設定及び目標設定を行うことや事業者と連携しながら、利用ニーズに応じて見直し等を検討し利便性向上を図ることとした。2次評価では、目標達成に至らなかった系統を中心に、原因分析を行い、運行の見直し等を含む利便性の向上や新規需要の掘り起こしを含むさらなる利用促進が図られることを期待する。その際、福祉関係者等他分野の関係者や地域住民を巻き込むなど、多様な主体と連携した取組が行われることを期待すると助言された。

これを踏まえ、令和8事業年度においては、以下の事業を行い、利便性向上に向けた最適化を検討していく。

- ・横手市循環バスの運行ルートの見直し（協議会）
- ・交通空白地等の地域概況データの収集・可視化と公共ライドシェア導入の検討（協議会）

（「横手市地域公共交通計画」P.45～P.47 参照）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表1を添付。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

横手市地域公共交通活性化協議会から運行事業者への補助金額については、運行経費の9割から運賃収入及び国庫補助金を差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

- ・利用者数や収支について、数値指標によるモニタリング・評価を実施

7. 別表1の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

表5を添付。

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

※該当なし

(2) 事業の効果

※該当なし

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）
【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

（１）事業の目標

※該当なし

（２）事業の効果

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

【平成 30 年度】

- ・平成 30 年 5 月 28 日（第 1 回） 狙半内共助運営体による自家用有償旅客運送について
- ・平成 30 年 6 月 25 日（第 2 回） 平成 31 年度横手市生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成 30 年 11 月 29 日（第 3 回） 横手市地域公共交通網形成計画について
- ・平成 30 年 12 月 21 日（第 4 回） 横手市地域公共交通網形成計画について（継続）
- ・平成 31 年 1 月 25 日（第 5 回） 横手市地域公共交通網形成計画について（継続）
- ・平成 31 年 3 月 19 日（第 6 回） 横手市地域公共交通網形成計画を承認

【令和元年度】

- ・令和元年 6 月 27 日（第 1 回） 令和 2 年度横手市生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和元年 9 月 25 日（第 2 回） 自家用有償旅客運送「上畑線」における乗降場所の追加について

代替交通「睦合線」委託事業者の変更について

スクールバスを活用した有償運送実証実験について

- ・令和元年 11 月 12 日（第 3 回） スクールバスを活用した有償運送実証実験について（継続）

【令和 2 年度】

- ・令和 2 年 6 月 26 日（第 1 回） 令和 3 年度横手市生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和 2 年 10 月 20 日（第 2 回） 自家用有償旅客運送「柏木・大森病院線」本格運行への移行

代替交通「睦合線」停留所一部変更

公共交通回数券の利用対象事業者追加（介護タクシー）について

- ・令和 2 年 12 月 28 日（書面協議） 地域内フィーダー系統確保維持改善事業の事業評価

【令和 3 年度】

- ・令和 3 年 6 月 29 日（第 1 回） 令和 4 年度横手市生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和 4 年 1 月 18 日（書面協議） 地域内フィーダー系統確保維持改善事業の事業評価

【令和 4 年度】

- ・令和 4 年 6 月 24 日（第 1 回） 令和 5 年度横手市生活交通確保維持改善計画を承認
自家用有償旅客運送の登録有効期間更新について合意
- ・令和 5 年 1 月 25 日（書面協議） 地域内フィーダー系統確保維持改善事業の事業評価
- ・令和 5 年 2 月 13 日（第 3 回） 横手市循環バスの減便について
羽後交通「角間川線」の廃止について

【令和 5 年度】

- ・令和 5 年 5 月 10 日（第 1 回） 路線バス角間川線の廃止に係る代替の措置について
- ・令和 5 年 6 月 28 日（第 2 回） 令和 6 年度横手市生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和 5 年 7 月 26 日（第 3 回） 横手デマンド交通の利用料金の改定について
- ・令和 5 年 10 月 5 日（第 4 回） 横手市地域公共交通計画の骨子案について
- ・令和 5 年 11 月 22 日（第 5 回） 横手市地域公共交通計画の素案について
- ・令和 6 年 1 月 12 日（書面決議） 地域内フィーダー系統確保維持改善事業の事業評価
- ・令和 6 年 2 月 19 日（第 7 回） 横手市地域公共交通計画（案）について

【令和 6 年度】

- ・ 令和 6 年 6 月 27 日（第 1 回） 令和 7 年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）を承認
- ・ 令和 6 年 8 月 23 日（第 2 回） 乗合タクシー角間川線試験運行終了について
- ・ 令和 7 年 1 月 21 日（書面決議） 地域内フィーダー系統確保維持改善事業の事業評価
- ・ 令和 7 年 3 月 14 日（第 4 回） 横手市地域公共交通活性化協議会規約等の一部改正等について

【令和 7 年度】

- ・ 令和 7 年 6 月 24 日（第 1 回） 令和 8 年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）を承認
- ・ 令和 7 年 7 月 日（書面決議） 令和 7 年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）変更申請を承認

19. 利用者等の意見の反映状況

- ・ 横手市地域公共交通活性化協議会への住民代表の参加
- ・ 令和 5 年度公共交通に関する市民アンケート調査による住民意見の反映
- ・ 地域別意見交換会の実施
- ・ 毎年の横手市まちづくりアンケートによる住民意向の把握（満足度等）
- ・ デマンド交通利用者への聞き取り調査（随時の抽出調査）による意見聴取

20. 乗用タクシーの運賃低廉化措置を行う地域の概要

【乗用タクシーの運賃低廉化措置を行う場合のみ】

（１）過去に乗合旅客の運送を行っていた乗合バス事業等

※該当なし

（２）交通手段の検討状況

※該当なし

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）秋田県横手市中央町 8 番 2 号（所 属）横手市地域公共交通活性化協議会
（横手市総務企画部経営企画課）（氏 名）田中 榛菜（電 話）0 1 8 2 - 3 5 - 2 1 6 4（e-mail）kikaku@city.yokote.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらずとも差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記 2.・3. については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るように

して下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

R7年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例措 置	運送 継続 特例措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)
横手市	つばめ自動車株式会 社	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	5,300回			区域	①・②(1)	補助対象地域間幹 線系統の横手・湯 沢線、横手・大曲線 と横手バスターミナ ルで接続	③
	合資会社浅舞タク シー	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	2,400回			区域	①・②(1)		③
	合同会社沼館タク シー	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	3,300回			区域	①・②(1)		③
	さとみタクシー有限会 社	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	5,000回			区域	①・②(1)		③
	合資会社大森タク シー	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	2,600回			区域	①・②(1)		③
	有限会社ユニオン交 通	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	4,700回			区域	①・②(1)		③
	よこてタクシー株式会 社	(1) 横手デマンド交通		横手市 内		往 km 復 km	365日	3,500回			区域	①・②(1)		③
	羽後交通株式会 社	(2) 横手市循環バス	横手 バスターミ ナル	横手病 院前	横手 バスターミ ナル	往29.1km 循環	365日	3,524回			路線定期	①・②(1)		③
		(3) 1 朝日が丘上台線3	横手 バスターミ ナル	横手病 院前	上台	往7.1km	239日	418回			路線定期	①・②(1)		③
		(3) 2 朝日が丘上台線3	上台	横手病 院前	横手 バスターミ ナル	復7.4km	239日	418回			路線定期	①・②(1)		③
		(4) 朝日が丘上台線9	横手 駅東口	朝日が 丘四丁 目南口	横手 バスターミ ナル	往14.7km 復0.0km	239日	239回			路線定期	①・②(1)		③
		(5) 朝日が丘上台線10	横手 駅東口	朝日が 丘四丁 目南口	横手 バスターミ ナル	往14.1km 復0.0km	239日	358.5回			路線定期	①・②(1)		③
		(6) 1 大森線10	横手 バスターミ ナル	大森地 域局前	大森病 院前	往17.9km	239日	597.5回			路線定期	①・②(1)		③
		(6) 2 大森線10	大森病 院前	大森地 域局前	横手 バスターミ ナル	復17.7km	239日	717回			路線定期	①・②(1)		③
		(7) 山内線4	横手 駅東口	平鹿振 興局前	又温泉 入	往23.9km 復0.0km	239日	478回			路線定期	①・②(1)		③
		(8) 山内線9	又温泉 入	平鹿振 興局前	横手 バスターミ ナル	往23.2km 復0.0km	239日	358.5回			路線定期	①・②(1)		③
		(9) 1 横手本荘線2	横手 バスターミ ナル	平成高 校前	坂の 下	往24.9km	365日	424.5回			路線定期	①・②(1)		③
		(9) 2 横手本荘線2	坂の 下	平成高 校前	横手 バスターミ ナル	復24.4km	365日	242回			路線定期	①・②(1)		③
		(10) 横手本荘線13	坂の 下	平鹿総 合病院 前	横手 バスターミ ナル	往27.7km 復0.0km	365日	182.5回			路線定期	①・②(1)		③

- (注)
1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
 2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
 3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
 4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載
 5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
 6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
 7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
 8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

令和7年度4月1日改正

(上台線)

朝日が丘～横手バスターミナル～横手病院～横手高校～上台

朝日が丘四丁目南口発	横手バスターミナル発	四日町上丁発	南小学校前発	横手病院前発	本町発	幸町発	横手高校前発	見入野発	上台着
◎ 6:50	7:03	7:06	7:08	7:11	7:12	7:13	7:18	...	...
◎ 7:15	7:28	7:31	7:33	7:36	7:37	7:38	7:43	7:44	7:48
	9:10	9:13	9:15	9:18	9:19	9:20	9:25	9:26	9:30
	16:00	16:03	16:05	16:08	16:09	16:10	16:15	16:16	16:20
	17:20	17:23	17:25	17:28	17:29	17:30	17:35	17:36	17:40
上台発	見入野発	横手高校前発	幸町発	本町発	横手病院前発	南小学校前	四日町上丁発	横手バスターミナル着	
7:55	7:55	8:00	8:01	8:02	8:07	8:07	8:09	8:15	
9:45	9:45	9:50	9:51	9:52	9:57	9:57	9:59	10:05	
16:25	16:25	16:30	16:31	16:32	16:37	16:37	16:39	16:45	

申請番号3-1
朝日が丘上台3

申請番号3-2
朝日が丘上台3

全便、土・日・祝及びお盆期間（8月9日～17日）と年末年始（12月27日～1月4日）は運休となります。

◎印は、安田原経由

(本荘線)

横手バスターミナル～平鹿総合病院～浅舞～沼館～大沢～玉米～本荘営業所

横手バスターミナル発	平鹿総合病院前発	横手駅西口発	中山発	平成高校前発	新町発	浅舞小学校前発	東里発	新道角発	沼館着	大沢上丁発	坂の下着発	玉米発	道の駅異桜の里発	本荘営業所着
● 7:10	---	---	7:19	7:26	7:29	7:36	7:40	7:47	7:49	...	...	...	...	...
7:45	---	---	7:54	8:01	8:04	8:11	8:15	8:22	---	8:29	8:34	...	...	...
● 9:30	---	---	9:41	9:46	9:51	9:56	10:02	10:07	---	10:16	10:19	10:31	10:33	11:26
12:30	---	---	12:39	12:46	12:49	12:56	13:00	13:07	---	13:14	13:19	...	...	...
● 14:50	---	---	15:01	15:06	15:11	15:16	15:22	15:27	---	15:36	15:39	15:51	15:53	16:46
● 15:30	15:38	15:43	15:46	15:53	15:56	16:03	16:07	16:14	16:16	...	...	...	...	...
16:30	---	---	16:39	16:46	16:49	16:56	17:00	17:07	17:09	...	...	...	...	...
● 17:30	---	---	17:41	17:46	17:51	17:56	18:02	18:07	---	18:16	18:19	18:31	18:33	19:26
◎● 18:20	---	---	18:29	18:36	18:39	18:46	18:50	18:57	18:59	...	...	...	...	...
本荘営業所発	道の駅異桜の里発	玉米発	坂の下発	大沢上丁発	沼館発	新道角発	東里発	浅舞小学校前発	新町発	平成高校前発	中山発	横手駅西口発	平鹿総合病院前発	横手バスターミナル着
					※ 6:50	6:52	6:55	7:03	7:06	7:14	7:17	---	---	7:30
● 6:40	7:30	7:32	7:44	7:47	● 7:20	7:22	7:25	7:33	7:36	7:43	7:46	7:53	7:58	8:06
			8:55	8:56	---	9:07	9:10	9:18	9:21	9:28	9:31	9:38	9:43	9:51
			13:50	13:51	---	14:02	14:05	14:13	14:16	14:23	14:26	---	---	14:37
● 14:30	15:23	15:25	15:37	15:40	---	15:49	15:54	16:00	16:05	16:10	16:15	---	---	16:24
					● 16:25	16:27	16:30	16:38	16:41	16:48	16:51	---	---	17:02
					17:20	17:22	17:25	17:33	17:36	17:43	17:46	---	---	17:57
● 17:30	18:20	18:22	18:34	18:37	---	18:46	18:51	18:57	19:02	19:07	19:12	---	---	19:21

申請番号9-1
横手本荘2

申請番号10
横手本荘13

申請番号9-2
横手本荘2

●印は、土・日・祝及びお盆期間（8月9日～8月17日）と年末年始（12月27日～1月4日）は運休となります。

◎印は、横手高校始発（18:09発）

※印は、横手高校直通（7:39着）